

阿波人形浄瑠璃芝居公演

中村園太夫座公演



式三番叟
傾城阿波の鳴門 順礼歌の段
新野中学校
越後母恋情話
中村園太夫座
絵本太功記 十段目 尼ヶ崎の段
中村園太夫座



撮影：福井純子

令和7年 1月26日

12:30 開場 / 13:00 開演

阿南市文化会館夢ホール

阿南市富岡町西池田135-1 TEL.0884-21-0808

お問合せ / 阿南市文化振興課 tel.0884-22-1798

入場料

200円 小中高生無料

※未就学児は入場できません

チケット

平惣書店(羽ノ浦店・センター店)
阿南市情報文化センター
阿南市文化会館

現代仮名遣い床本
無料配布
(先着一五〇名)

阿波 人形浄瑠璃 芝居公演



しきさんばんそう

式三番叟

天下泰平・五穀豊穰・家内安全、さらに舞台公演の無事を祈願して行います。

けいせいあわのなると じゅんれいうたのたん

傾城阿波の鳴門 順礼歌の段

太 夫：宮崎照美

三味線：鶴沢友丸

人 形：新野中学校民芸部

盗まれた主君の刀を詮議するために、阿波の十郎兵衛・お弓の夫婦は、大阪玉造に住んでいました。そこへ順礼の姿のお鶴が現れます。父母に会いたい一心で困難な旅を続けてきたお鶴のいじらしさと、母親であると名乗ることのできないお弓の、引き裂かれるような胸の内の観る者の涙を誘います。

えちごはこいじょうわ

越後母恋情話

太 夫：宮崎照美

三味線：鶴沢友丸

原 作：陶久敏郎

人 形：中村園太夫座

30年前にさらわれた娘を探して巡礼の旅を続ける老婆お咲と、岡花屋で働くお恵の物語です。

えほんたいこうき じゅうだんめ あまがさきのだん

絵本太功記 十段目 尼ヶ崎の段

太 夫：竹本友廣

三味線：鶴沢友輔

人 形：中村園太夫座

主君織田信長を討った光秀に腹を立て、母皀月は尼ヶ崎の閑居へと引きこもってしまいます。閑居へ、光秀の妻・操と一子・十次郎の許婚・初菊が訪れます。討ち死にを覚悟で暇乞いにやってきた十次郎は、初菊と祝言を挙げ、出陣していきます。そこへある僧が宿を求めて訪れますが、後から来た光秀はこれを真柴久吉と見破り、障子越しに槍で突きます……。

阿波人形浄瑠璃は、平成11年、国の重要無形文化財に指定されました。「中村園太夫座」は阿南市新野町中分地区に江戸末期より伝わり親しまれてきており、その伝承の技芸は新野中学校民芸部など若い人たちにも受け継がれています。郷土の誇り「阿波人形浄瑠璃」の舞台を夢ホールでお楽しみください。

中村園太夫座



中村園太夫座は、江戸時代の終わりの文化2(1805)年には活動を始めていた阿波人形浄瑠璃の一座です。今も残っている中では、日本で最も古い人形座と言われています。

私たちは、毎年1月の定期公演のほか各地の敬老会や介護施設など年間10回くらいの公演を行っています。それ以外にも、平成24(2012)年7月には、東北大地震で被災した宮城県気仙沼市を、「漁業のまち気仙沼を私たちの恵比寿舞で励ましたい」との想いで訪れ、恵比寿様が大きな鯛を釣り上げる姿を大勢の人々に喜んでもらいました。

また、平成30(2028)年10月には、その2年前の熊本地震で大きな被害を受けた熊本県南阿蘇村を訪れ、一日も早い復興を願って人形浄瑠璃を上演してきました。私たちは、これらの慰問公演を通じ、苦しい立場に追いやられた人々に寄り添うことの大切さを学びました。

最後に、私たちはこれまでに「越後母恋情話」、「邪馬壹国由来記」、「阿波過路恋唄」の3本の浄瑠璃芝居を創作してきました。伝統文化の中に新しい花を咲かそうという私たちの取組みを応援してください。

新野中学校民芸部



新野中学校民芸部は、今年度14名が所属し、人形遣いだけでなく太夫の語りや三味線も部員が演じてきましたが、3年生の卒部により、現在6名の部員で人形遣いの練習に励んでいます。ほとんどの生徒が他の部と兼部しているため、週一回しか練習できませんが、全員がこの部活動に誇りとやりがいを感じています。さらに、新野町内の芸能大会やお祭りなどにも毎年招かれ、地域の方々からあたたかい愛情を頂いて、それが何よりの励みになっています。

私たちは、「阿波の人形浄瑠璃」を通してたくさんの方とつながることができたこと、毎年このように大きな舞台で演じられることに感謝の気持ちでいっぱいです。これからも地域の方と先輩方が受け継いできた徳島の伝統芸能「傾城阿波の鳴門順礼歌の段」を、心を込めて演じていきたいと思っています。